

平成30年度 女性の農業委員会活動推進シンポジウム

参加報告

【平成31年3月6日（水）東京都・砂防会館】

シンポジウムには、全国から女性の農業委員・農地利用最適化推進委員が一堂に参集し、490名（山形県からは43名）の参加がありました。

本年は、農業委員会の必須業務である「農地利用の最適化」に加え、昨今の情勢等も踏まえた形で「未来につなげよう！地域の農業と農地」を基本テーマとして開催されました。

初めに全国女性農業委員会協議会の横田会長、（一社）全国農業会議所の二田会長、農林水産省経営局の依田経営政策課長よりご挨拶いただき、情勢や今後の農業委員会活動についてお話がありました。

講演では（一社）会議ファシリテーター普及協会の釘山代表より「対話型の話し合い」についてお話がありました。従来型の堅苦しい会議ではなく、笑顔で楽しく合意形成を行っていく手法は、既成概念を打ち破る目からウロコの手法でした。今、農業の分野では地域の話し合いが重要視されてきていますが、この手法は「まちづくり」の視点も取り入れた、広く応用の効く手法でもあります。多くの参加者にとって、今後の地域を考えるうえでの一助になったことと存じます。

続けて、（独）農業者年金基金の西理事長より、「農業者年金のメリットと加入促進について」研修がありました。農業者にとって大変有利な年金であり、広く周知・普及をお願いしていく必要があります。

その後のパネルディスカッションでは、「農地利用の最適化を実践しよう」をテーマに3名の農業委員会会長（茨城県茨城町、福井県小浜市、熊本県錦町）が、取り組みの紹介や考えについて議論を行いました。どの農業委員会でも農家への意向調査を基にした効果的な取り組みを行っており、今後の参考になるものでした。

最後に今回のシンポジウムのアピールを当会の関口会長が宣言し、満場一致の拍手で採択されました。主題は「男女共同参画社会を積極的に推進し、農地利用の最適化に全力で取り組もう！」です。このアピールを基本とし、更なる女性の委員の活躍と組織の活性化を図って参りますので、今後も皆様からの

ご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



釘山氏の講演

「農業の未来は明るいぞ！」

～これからの農業は女性の笑顔と

楽しい対話が変わる～